

楽しい空間での料理のお味もまた格別

食による健康づくりや料理のコツが学べる「男性料理教室」が、町内3か所の保健センターで1月25日から計6回開かれました。各会場で魚と肉の料理に分け2回ずつ実施し、食進会が栄養価や手順などを丁寧にアドバイス。参加者から「こんなに簡単に美味しい料理が作れるなんて」と喜びの声が上がっていました。



↑丹精込めた料理の出来も楽しみですが、調理中の会話も楽しみの一つです。

↓ハートをモチーフにした猪口や干支の酉のデザインの並んだ展示販売会場。



節目を飾った1000個バレンタイン

上野焼協同組合による「バレンタイン猪口展」が、2月1日から14日まで上野焼陶芸館で開かれました。10周年を迎えた今年は「セントバレンタイン」にちなみ「1000コバレンタイン」と銘打ってPR。11窯元が福岡市内での販売も合わせて計1000個の猪口を用意し、スケールアップした企画内容で節目を飾りました。

潜在力を引き出す秘けつを学ぶ

次世代アスリートの育成を目的とした講演会とディスカッションが、1月22日に地域交流センターで開かれました。元ホークスの木村茂投手をはじめ、スポーツライターやメンタルトレーナー、少年野球指導者など、幅広い視点で現状を分析。参加した250人が子どもたちの能力を引き出す秘けつを学びました。



↑木村茂氏、ライターの田尻耕太郎氏、トレーナーの田振利之氏などが登壇。

↓スピード感あふれるプレーに会場も釘付け、高度な連携プレーも光りました。



声援を浴びながら迫力のプレー

町子育連主催のフットサル大会が、2月5日に金田体育館で開催されました。子どもたちにも人気の屋内サッカー競技に13チーム、84人が参加し、回を重ねるごとにプレーもレベルアップ。大きな声援が響く中、子どもたちは全力でコートを駆け回り、巧みにパスを回してゴールを決め、会場を沸かせていました。

↓国際大会初出場で日本記録を出した体験談などの講話後、マラソンで児童と心通わせた小鴨さん。



元五輪選手の小鴨さんと快走

バルセロナオリンピック日本代表の小鴨由水さんを招いたマラソン教室が、1月31日に弁城小で開かれました。走り方の技術指導だけでなく、楽しむ心や最後までやりとげることの大切さを全校児童に伝えた小鴨さん。2学年ごとに競ったマラソン大会では全ての距離を共に走り、「自分のペースで目標を持って、決してあきらめないで」と児童に語りかけました。

絆 深めた兄弟都市提携後初の歓迎

児童の相互ホームステイを続けている沖縄県中城村との交流が、1月13日から2泊3日で行われました。昨年3月に兄弟都市提携後、初の歓迎。中城村児童が初めて触れるメーンの雪体験では、暖冬でも積雪に恵まれ、白い雪を手に歓声があがりました。上野焼陶も楽しみ、充実した体験で交友を育みました。



↑中城村から16人の児童が来町、英彦山では念願の雪合戦で親睦を深めました。

↓知識とサポート、地域のつながりの大切さを全体で共有したシンポジウム。



知る・支える・つながるをテーマに

認知症シンポジウムが1月21日に地域交流センターで開催されました。西九州大学の山城准教授による基調講演の後、「知る・支える・つながる」をテーマにシンポジウムを展開。地域や施設で活動する登壇者が、認知症の方々を温かく見守る地域づくりについて、実践に基づく貴重な意見を交わしました。